

# 先進地（現地）調査報告書

平成 31 年 3 月 26 日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 北本 将幸



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	北本 将幸、多田隈 啓二、吉田 憲司、吉田 真樹子
日時	平成 30 年 8 月 2 日（木） 午後 13 時 00 分 ～ 午後 15 時 00 分
調査先	鹿児島県出水市
調査事項	出水市：出水ツルマラソン大会
調査先面会者	出水市：産業振興部シティセールス課： <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
概要及び所見	<p>8 月 2 日（木）に創政未来の会派研修で鹿児島県出水市にて先進地研修を行いました。玉名市においては、マラソンの父である金栗四三氏を主人公とした、大河ドラマの効果を一過性に終わらせない取り組みとして、フルマラソン大会の実施に取り組んでいます。そこで出水市において、出水ツルマラソンの視察を行いました。研修では、マラソン大会開催に至るまでの経過と大会の準備、当日の運営等について聞くことが出来ました。事務局は、市のスポーツ交流係が窓口となっており、行政が中心となって進められていました。玉名市においてもフルマラソン推進係が設置されているので、行政としての取り組みなど学ぶことが出来ました。また実際に 10 月に開催されたマラソン大会に参加して、当日の運営などを体験することも出来ました。また大会開催場所が新幹線駅から近いこともあり、新幹線による誘客効果についても参考になり、玉名市においても新玉名駅からの移送など検討するべき課題も見えました。</p> <p>今回の研修において、大河ドラマの効果を一活性に終わらせない取り組みとしてのフルマラソン大会実現のために向けた先進的</p>

	<p>な取り組みを視察することが出来、今後の玉名市に活かせるものでありました。また鹿児島市においては、大河ドラマ「西郷どん」の放映中でもあり、大河ドラマ館が設置されており、併せて視察することが出来、玉名市の大河ドラマ館に向けた視察も行うことが出来、有意義な研修となりました。</p>
--	---

# 先進地（現地）調査報告書

平成 31 年 3 月 26 日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 北本 将幸



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	北本 将幸、多田隈 啓二、吉田 憲司、吉田 真樹子
日時	平成 30 年 8 月 3 日（金） 午後 10 時 00 分 ～ 午後 12 時 00 分
調査先	鹿児島県指宿市
調査事項	指宿市：いぶすき菜の花マラソン大会
調査先面会者	指宿市：産業振興部観光課： █████、█████ 指宿市観光協会： █████
概要及び所見	<p>8 月 3 日（金）に創政未来の会派研修で鹿児島県指宿市にて先進地研修を行いました。玉名市においては、マラソンの父である金栗四三氏を主人公とした、大河ドラマの効果を一過性に終わらせない取り組みとして、フルマラソン大会の実施に取り組んでいます。その中で、指宿市は、人口 4 万人程度の玉名市よりも小さい市にも関わらず、参加者が 1 万人規模を超えるいぶすき菜の花マラソン大会を開催されています。今回の研修では、大会実施までの流れや、ボランティアの動員、大会当日の警備やエイドの運営について視察しました。菜の花マラソンは、歴史ある大会であり、実行委員会などの組織も確立されており、地域一体となったマラソン大会を実施されていました。実施においては、観光協会が実行委員会の主体となって進められており、1 万人を越える参加者で実施されていました。当日の選手の移送、ボランティアの動員など、参考となるものがありました。またボランティアの高齢化など課題も聞くことが出来ました。</p> <p>今回の研修において、フルマラソン大会実現のために向けた先</p>

	<p>進的な取り組みを視察することが出来、今後の玉名市に活かせるものでありました。指宿市においては、大河ドラマ「西郷どん」の放映中でもあり、いぶすき大河ドラマ館が設置されており、併せて視察することが出来、玉名市の大河ドラマ館に向けた視察も行うことが出来、有意義な研修となりました。</p>
--	--

# 先進地（現地）調査報告書

平成 31 年 3 月 25 日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 北本 将幸



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	北本 将幸、多田隈 啓二、吉田 憲司、吉田 真樹子
日時	平成 30 年 10 月 16 日（火）～平成 30 年 10 月 17 日（水） 午前・午後 8 時 00 分 ～ 午前・午後 17 時 30 分
調査先	滋賀県野洲市 野洲市役所 兵庫県明石市 パピオスあかし
調査事項	野洲市：生活困窮者支援 債権管理条例について パピオスあかし：駅前再開発、子育て支援政策について
調査先面会者	野洲市：市民生活相談課長：[REDACTED]、納税推進課課長：[REDACTED] 議会事務局：[REDACTED] 明石市：パピオスあかし室長：[REDACTED] 総合窓口所長：[REDACTED] 市民生活局あかし総合窓口課長：[REDACTED]
概要及び所見	10 月 16 日（火）～17 日（水）に創政未来の会派研修で滋賀県野洲市と兵庫県明石市にて先進地研修を行いました。 16 日は、滋賀県野洲市において、生活困窮者支援に対する取り組みについて研修を行いました。野洲市では、生活困窮者支援の一つとして、債権管理条例を制定されていました。これは、滞納を SOS のシグナルとして考えられており、差し押さえによる一時的な徴収を行うよりも、滞納者自身の生活を再建することで、より長期的な納税を行っていくためのものでありました。実際効果も出ており、条例制定により、庁内連携の仕組みも強化されており、相談件数も増加しており、生活困窮者の市民生活相談課への誘導が出来ているようです。野洲市の先進的な取り組みを参考にしながら、玉名市における生活困窮者支援においても、現在、庁内で構成されている、生活あんしんネットワークの取り組みを更に活性化させながら、生活困窮者支援に取り組んでいく必要がある

ると感じました。

17日は、兵庫県明石市のパピオスあかしにおいて子育て支援、駅前開発について視察研修を行いました。パピオスあかしは、明石駅の駅前再開発において建設された施設であり、2階には、市民広場が設置されており、休日は、多くの人々が賑わうイベントが開催されているとのこと。また4階には、市民図書館、5階には、子育て支援センターや親子交流スペースなど子育て支援に対する様々な施設があり、6階には、市の総合窓口、こども健康センターが設置されていました。研修を行った日にも、かなり多くの方が、図書館、子育て支援センターを利用されていました。明石市では、数年前から子育てに特化した政策を進められており、その効果もあり、減り続けていた人口が、平成24年からV字回復をしており、3年連続出生数も増加、そのため市民税などの増収も実現されていました。また障がいのある人にも優しいまちを目指され、パピオスあかしには、自治体では全国初となる「手話フォン」を設置されていたり、図書館は、車いすやベビーカーでも利用しやすいように広々とした作りとなっていました。子育て支援、障がい者支援に対する取り組み、また駅前の再開発ビルの建設経緯など聞くことが出来、大変有意義な研修となりました。

今回、野洲市と明石市を研修しましたが、私自身が目指す誰もが住みよい街づくりを实践されている、先進的な取り組みを視察することが出来、今後の玉名市に活かせるものでありました。